

## 「第9回高等部弁論大会」

### ～貴重な学習成果発表の場～

校長 森 勝義

11月18日、「2023年度第9回高等部弁論大会」が開かれました。大会趣旨として  
貴重な高校生活を有意義なものとしていくために

1. 自分自身と自分を取り巻く社会に目を向ける。
2. 他の生徒の意見に耳を傾ける態度を養う。
3. クラス・学年間の親睦を深める。

高校1年生から3年生の生徒たちが全員参加しました。(当日欠席の生徒論文も読ませていただきました。)

それぞれ数ヶ月前から自分のテーマを決め、本番当日のために準備を進めていました。高等部の先生方による、レクチャーでは論文の構成やテーマをいかに絞りこんでいくか、他の人とテーマがかぶらないように、事前に先生方に相談したり、自分がまとめている内容について先生とのコミュニケーションをとっている姿をよく見かけました。

弁論大会を開催する意義は、とても大きいです。それは、社会が予測できないほどのスピードでめまぐるしく変化している今、自分で考える力、思考力・判断力・表現力が重視され、ますます必要とされてきています。自分自身の問題解決能力が、これからの社会を生き抜いていくためにも必要です。生徒たちは自分自身の日常生活からテーマを導き出したり、ネットニュースや時事問題やSDGSからテーマを探り当てる生徒もいました。人類が抱えている問題であったり、文化の違い、地球温暖化、社会のルール、自分自身のことなど、自分の設定したテーマについて、様々な視点から考え、比較し、考察や結論を見いだして、それをまとめ、恥ずかしがることもなく、生徒の皆さんひとり一人、堂々と発表していました。何よりも私自身、感激したのは、生徒たちの「聞く態度」でした。誰一人話しをしている人もいなく、しかも、スピーチが終わった生徒に対して、惜しめない拍手を送っていました。お互いをリスペクトしている姿、リスペクトアゲーズが溢れていました。

午前の部14名、午後の部14名が立派に発表している姿を見ていて誇らしく思えてきました。テーマは全くかぶることなく、28名すべてが弁士として発表できていたことは、先生方のサポートがあったからこそだと思います。

私の所属していた横浜市教育委員会でも、大きな弁論大会が毎年開催されています。毎年テーマが与えられる「弁論大会」、英語による「国際平和スピーチコンテスト」がありました。横浜市内146校の学校代表選考会で選ばれた146名が、まず18区で選考会を開き、最終的に18区代表が一堂に会し、競い合っていました。特に国際平和スピーチコンテストで優勝した生徒は、ピースメッセンジャーとして国連本部へ派遣されます。そしてグレーテス国連事務総長にメッセージを伝えます。

高等部の生徒は全員、現地校へ通いながら日本語学校へも通っています。本校の教育目標である「自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成」をしっかり受け止め、実践していることはうれしい限りです。

### 備前焼

福原美翔

備前焼にはいろいろな種類があります。たとえば食器、花びんなど、他にも色々あります。焼き色、もようによって名前がちがうものがあります。たとえば「さんざり」は、備前焼を代表する焼き色で金、黒、白、灰、茶などのさまざまな色がとくちょうです。「ひだすけ」は、たすきのようなもようです。わらをまいて蒸し焼きにし、わらのある所が赤色、わらのない所が白色になります。「ようへん（別名転がし）」は、かまの中で横にたおして焼きます。一番炎が強い手前に置いて上から松の割り木の灰がもようを作ります。

備前焼は、その昔古墳時代に朝鮮から伝わって生産されていた「須恵器」が発展し、変化を遂げて作り上げられたものといわれています。

備前焼は美しく、紹介しきれないほど、たくさんのみりよくがあります。私はもっと備前焼の事をもっと知りたいと思いました。

### 美濃焼

入江 友

美濃焼は岐阜県土岐市で作られている焼き物です。焼き物とはいろんな都道府県でつくられている陶磁器の事です。ここでは美濃焼のみりよくを二つ紹介します。みりよくの一つは「きくの花」です。美濃焼を作る工程で材料をこねるときに回しながら練ることでひょう面がきくの花みたいになります。それが美濃焼に特徴的な美しさをもたらしています。二つ目のみりよくは「形を作る」です。この美濃焼は遠心力を使って手で形を作ります。こうしてすべての焼き物は一つ一つ丁寧に手作りされることで、それぞれが個性的な形に仕上がっています。このように、美濃焼はとてもみりよくのある伝とう工芸品なのです。

### 信州とがくし竹細工

小林陽菜乃

竹細工とは、竹でできている物です。いろいろな竹細工があります。かごやざる、手箕などがあります。手箕とは、昔はお米の選別や持ち運ぶときに使っていました。竹細工の代表的な物にそばざるがあります。とがくしは、そばが有名です。竹ざるは金属やプラスチックせい物よりも水切れが良いので使われています。



ヒゲ森の言葉の森・探検



ちようさん ぼし

## 朝三暮四

目先の違いにとらわれ、同じ結果であることにきがつかない。また、巧みな言葉でだますこと。

明日、世界が終わるとしても、  
今日、私はリンゴの木を植える。

マルティン・ルター

1483年～1546年。ドイツの神学者。

どのような状況にあつても、新しいことに挑もう。希望が、朝日につながるかもしれない。